

美浜町民 レガッタ

10月19日と20日に、第26回美浜町民レガッタが県立久々子湖ポートコースで開催されました。

今大会はあいにくの悪天候でしたが、過去最多の236クルーが出場。湖上では、雨にも負けず優勝を目指してゴールへ一直線に進むクルーや蛇行しながらも一生懸命ゴールを目指すクルー等、それぞれが仲間とレースを楽しんでいました。

また、湖岸では応援テントでバーベキュー等を楽しむ姿が多くみられ、スポーツの秋・食欲の秋を満喫していました。

大会結果は、次のとおりです。

ジェントルマンの部

優勝 **強興突破** 2'06'69



2位	愛興会	2'07'73
3位	ダワーズ スーパーエース	2'09'08
4位	まきぐちJ	2'09'46
5位	新庄「天狗」	2'12'06
6位	久々子 暴れん坊将軍	2'13'29

ガッツマンの部

優勝 **S R 2 B K** 2'04'74



2位	火・消太郎 陸猿	2'05'94
3位	KP-Evolution	2'06'57
4位	ダワーズ ミラクルボンバー	2'08'81
5位	ムーンライト号	2'09'26
6位	山本山	2'15'22

ミックスの部

優勝 **マップ君1号** 2'21'90



2位	河原市っ子	2'24'54
3位	佐柿スーパートライ	2'25'68
4位	カナブンJAPAN	2'26'25
5位	河原市大作戦	2'30'13
6位	世界の岡ちゃん	2'31'60

スーパーマダムの部

優勝 **郷市 MAX** 2'32'83



2位	Cherry	2'33'63
3位	めざめた乙女	2'59'74
4位	—	—
5位	—	—
6位	—	—

スーパーシニアの部

優勝 **気山漕友会** 2'09'18



2位	久々子日の出会	2'10'25
3位	新庄「オドケ」	2'16'52
4位	日向燈台クラブ 黒あわび組	2'19'80
5位	カモコンスピードスター 8号 T・S	2'21'55
6位	KP223	2'29'07





シニアの部

優勝 **パイレーツ** 2'13'98



2位	美浜町議会B	2'16'30
3位	河原市信友丸	2'16'94
4位	うわの秋まつり	2'20'29
5位	河原市きりん	2'24'15
6位	リチャーズ	3'11'38

マダムの部

優勝 **につかぽつか国吉**
2'21'16



2位	Kugushi Hisui Madamu I	2'26'58
3位	オールラウンド☆パーティーB	2'33'80
4位	新庄小町	2'46'15
5位	pretty おによめ	3'25'23
6位	—	—

レディーの部

優勝 **人魚姫** 2'36'83



2位	びちびちピーチ白桃	2'39'37
3位	びちびちピーチ黄桃	2'41'73
4位	SKE35☆	2'43'11
5位	へしこばみゆばみゆ	2'47'94
6位	若狭医療ガールズ	3'03'30

小学生の部

優勝 **弥美 6年 FLOWERS**
2'51'75



2位	—	—
3位	—	—
4位	—	—
5位	—	—
6位	—	—

交流女子の部

優勝 **Hysteric Princess II**
2'32'23



2位	α ブランコ	2'35'87
3位	LA・BORRACHINES	2'36'34
4位	SPARK!	2'38'26
5位	美方高校ボート部保護者会 ～闘漕心～	2'40'17
6位	おおママ	2'43'65

交流男子の部

優勝 **津幡 Rowing** 2'04'86



2位	二俣・島ボートクラブ	2'08'07
3位	激おこぶんぶん丸	2'09'47
4位	大阪海豚団Jr	2'14'69
5位	ベッキー	2'16'21
6位	Kazue	2'18'28



11月2日・3日に、みはまナビフェス2013がなびあすと町役場特設会場で開催されました。

なびあすでは、町民の皆さんによるさまざまな分野の作品展示やステージ発表等が行われました。

また、屋外には多くのテントが並び、町の農林水産業をはじめとする各産業の特徴を活かした販売や催し等が行われました。



美浜ジャズオーケストラ



東地区大正琴グループ



寺田社中による茶道体験



美浜町病害虫防除協議会による航空防除ヘリのシュミレータ操作体験



JA敦賀美方みはま基幹支店による農産物即売会



太田そば倶楽部による手打ちそばの実演販売



猟友会美浜支部によるしじみのふるまい



みはまYumYumPROJECTの年間活動発表

地域福祉講演会

いつまでもイキイキ！
楽しく生きてこそ

11月3日に、小谷あゆみさん(フリーアナウンサー)が住み慣れた地域で自分らしく楽しく暮らす方法等について講演されました。

小谷さんは、「介護する人・される人がお互いに楽しく生きるために、家族で抱え込まないこと」や「笑顔は伝染し、より良い人間関係を築く」等と話されていました。



みはま ナビフェス 2013

芸能の祭典と称したダンス・演奏・合唱等の発表



真美フレッシュ体操美浜教室



文化サークル・学校等の作品展示や体験コーナー



文化サークルの作品展示



学校児童や保育園児等の作品展示

町の農林水産物や特産品の販売



新庄小学校児童によるお米の販売



美浜町漁村青壮年研究協会による鮮魚販売

しし汁・餅の無料配布やクレヨン(吉本芸人)漫才等の各種催し



漫才を披露し山口町長から大笑いの評価を受けるクレヨン(吉本芸人)



餅ついでによるつきたて餅のふるまい

みはまナビフェス コンサート 2013

11月2日に、ヒナタカコさん(福井県三国町出身・ピアノ弾き語りシンガーソングライター)と、今回のコンサートに向けて結成されたナビフェス町民合唱団によるコンサートが行われ、会場には約400人の観客が訪れました。

ヒナタカコさんとナビフェス町民合唱団は「花は咲く」や美浜の景色を歌詞に再編した「僕たちの景色」、「ふるさと」を合唱し、会場は優しいハーモニーに包まれていました。



↑最優秀賞に選ばれた作品を朗読する熊谷 結成さん(左)、宮下 妃海さん(中)、浅妻 智樹さん(右)

読書感想文コンクール

入賞者発表

11月2日に、なびあすで美浜町読書感想文コンクールの表彰式が行われました。
 今回のコンクールには、124作品の出品があり、審査の結果、次の方々が入賞されました。(敬称略)

【最優秀賞】

部 門	学校名等	氏 名	作 品 名
1年生の部	弥美小学校	金森 爽	がんばれ、「ほく」
2年生の部	菅浜小学校	中島 武蔵	いつだって友だち
3年生の部	弥美小学校	熊谷 結成	わすれられないおくりもの
4年生の部	美浜北小学校	宮下 妃海	わかりあいたいと思う気持ち
5年生の部	美浜北小学校	井上 美玖	人の本当のよさを見つけたい
6年生の部	美浜南小学校	浅妻 智樹	リーダーとはなにか
中学生の部	美浜中学校2年	木戸 樺乃	いいかげんがいい
一般の部	美方高等学校2年	田邊 のゆき	何が勉強か

【優秀賞】

1年生の部	奥村 心咲(美浜北小学校) 高木 陽菜(新庄小学校)	5年生の部	谷口 優希(美浜北小学校) 岩本 憲伸(菅浜小学校)	中学生の部	尾上 茉優(美浜中学校3年)
2年生の部	山脇 優舞(美浜南小学校)	6年生の部	志賀 早耶香(美浜北小学校)	一般の部	芝井 千夏(敦賀高等学校2年)
3年生の部	茂道 和史(丹生小学校)		石田 達大(美浜北小学校)	家族の部	網谷 洋介(美浜北小学校1年)
4年生の部	山瀬 奏斗(丹生小学校)	中学生の部	秋山 史泉(美浜中学校3年)		網谷 舞(美浜中学校2年)
					網谷 早苗(早瀬)

【入選】

1年生の部	森下 瑚羽(美浜北小学校) 田辺 菜乃(弥美小学校)	4年生の部	千万 真慧(新庄小学校) 吉本 梨乃(菅浜小学校)	中学生の部	石丸 ひかり(美浜中学校1年) 田邊 歩美(美浜中学校1年)
2年生の部	寺川 歓十(美浜北小学校) 岸本 知大(美浜東小学校) 古澤 瑞穂(美浜東小学校)	5年生の部	隠岐 優佳(美浜東小学校) 辻井 伶佳(美浜東小学校) 中島 明日香(菅浜小学校)	一般の部	繁田 祐香(美浜中学校3年) 杉本 彩星(敦賀高等学校1年) 前田 健吾(美方高等学校2年)
3年生の部	木谷 亮太(美浜北小学校) 山瀬 圭汰(丹生小学校)	6年生の部	山口 美優(美浜北小学校) 久保 那月(新庄小学校)		
4年生の部	小山 萌子(弥美小学校) 河村 陽太(弥美小学校)		千万 智生(新庄小学校) 満田 有里菜(美浜東小学校)		

高
齡
者
叙
勲

仲嶋 忠次氏

旭日単光章を受章

9

月30日に、長年にわたる地方自治の振興発展

に貢献された功績を称え、仲嶋忠次さん（河原市）に旭日単光章が送られました。

仲嶋さんは、昭和61年3月から4期16年間にわたり美浜町議会議員として在職し、この間、議会議長、厚生常任委員長、地域改善対策特別委員長等を務められました。

バブル経済が崩壊し、景気が低迷する中、仲嶋さんは、



仲嶋 忠次氏（河原市）

常に高い識見と確固たる政治信念のもと、福祉・医療分野における諸施策の推進や、国道27号金山バイパス等の道路網整備、また、町民の同和問題に対する正しい理解と認識確立のために献身的な活動をされる等、当時町が抱えていた重要課題のすべてに関わり、町の諸施策の実現に尽力されました。

この受章を受け、仲嶋さんは「町民の皆さんのためにと、という思いで精一杯取り組んできました。受章は私1人の力でなく、家族をはじめ、地域の方々の温かいご支援とお力添えのおかげです」と話されていました。

農

業委員会委員選挙人名簿は、毎年1月1日現在で調製しています。

農業委員会委員選挙人名簿への登録は、申請制が採用されており、選挙権を有する者（登録資格者）は、農業委員会委員選挙人名簿登録申請書を農業委員会経由で選挙管理委員会に提出しなければなりません。

登録申請書は、郵送による配布・回収としており、平成25年度の名簿登録世帯等該当者（世帯）には、12月中旬に申請用紙を郵送します。該当となる方は、次のことにご注意いただき、期限までに町農業委員会事務局に提出してください。

なお、本年度から資格を有された方、資格は有しているが昨年度登録申請を行わなかった方等、申請書が必要な方は、町農業委員会事務局へご連絡ください。

▼申請書提出期限

平成26年1月10日（金）

●選挙人名簿登録資格者

①町内に住所を有する満年齢20歳以上の者

※年齢は、平成26年3月31日現在で計算します。よって、平成6年4月1日以前に生まれた人になります。

②10アール（1反歩）以上の農地につき耕作の業務を営む者及びその同居の親族又は配偶者であつて、その耕作に従事する日数がおおむね60日以上

の者
③10アール（1反歩）以上の面積の農地につき耕作の業務を営む農業生産法人の組合員又は社員であつて、その耕作に従事する日数がおおむね60日以上



↑農業委員による農地パトロール

農業委員会委員選挙人名簿
掲載申請書提出のお願い

■お問い合わせ先
町農業委員会事務局（町農林水産課内）担当・木谷 ☎32-6706
町選挙管理委員会（町総務課内）担当・片山 ☎32-6700

美浜発電所の状況



今回の報告では、10月18日から11月18日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

町原子力環境安全監視委員会が
福島第一原子力発電所等を視察

町原子力環境安全監視委員会は、10月23日から25日にかけて、委員会の活動を進めていく上での参考とするため、東京電力(株)福島第一・二原子力発電所を視察するとともに、原子力規制庁を訪問しました。

まず、福島第一原子力発電所では、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震当時の状況をはじめ、今もなお深刻な事態が続く汚染水対策等の現状について説明を受けるとともに、現地を視察しました。

同発電所は、地震発生により送電鉄塔の倒壊等が発生。外部からの電源供給が途絶えたことで、非常用ディーゼル発電機が起動し、原子炉の冷却が進みましたが、その後、襲来した津波により設備が被水・故障したことで全ての電源が無くなりま

した。その後、原子炉冷却のために決死の電源確保と冷却機能の回復作業にあたりましたが、1号機建屋の水素爆発等により冷却機能を回復させることができず、通常では、放射性物質を閉じ込めている燃料や原子炉容器等が損傷し、結果、放射性物質を放出する事故となりました。

第一発電所構内の視察では、放射線量も高く広大な敷地に施設等が設置されていることもあり、バス車内となりましたが、汚染環境下での過酷な復旧作業の状況や、汚染水の対応等の現状を確認しました。

しかし、一方では、4号機の使用済燃料プールからの燃料を取り出すための施設が完成する等、着実に復旧に進む状況も確認できました。

その後、視察した福島第二原子力発電所では、第一発電所と同じく地震・津波の被害を受け、一時は原子力緊急事態宣言が発出される状況に陥りましたが(平成23年12月26日解除)、外部電源4回線のうち1回線が無事であったこと、また、所員等の冷却機能回復への懸命な努力により、3月15日には運転中だった1・4号機、全てを冷温停止にさせることができたとの説明を受けました。

地震以降は、電源車の配備や防潮堤の整備等が進められており、更なる安全への取り組みが着実に進めら

れています。

次に訪問した原子力規制庁では、今年7月に施行された原子力発電所の新規制基準と、昨年10月に策定された、以降、順次改定されている原子力災害対策指針の内容について説明を受けた後、意見交換を行いました。

意見交換では、委員から「原子力規制委員会は閉ざされている。現状を分かりやすく公表してほしい。」等、意見交換が交わされました。意見交換終了の際、当監視委員会の金谷会長は、「原子力発電所が長期停止する中で、地域経済も疲弊している。破砕帯や新基準適合性確認の審査を迅速に進めてほしい。」と強く要請しました。

本委員会では、今回の視察で得た知見を踏まえ、美浜発電所の安全対策を確認するとともに、必要に応じて、原子力規制庁に対し、説明を求めていきます。

第25回定期検査中

美浜1号機

(平成22年11月24日)

第27回定期検査中

美浜2号機

(平成23年12月18日)

第25回定期検査中

美浜3号機

(平成23年5月14日)



↑Jビレッジにて福島第一原子力発電所の現状等の説明を聞く委員



↑原子力規制庁と意見交換をする委員

広域避難先（大野市）の避難施設が決定

町では、県内の原子力発電所において、万が一、事故が発生した場合の広域（30km圏外への）避難先として、今年8月に改定した町地域防災計画の中で、嶺南では「おおい町」、

嶺北で「大野市」と定めています。去る11月8日に、大野市及び福井県との調整を終え、集落毎の避難施設を、左表のとおり決定しました。

なお、おおい町の避難施設は、広報みはま1月号「No.504」をご覧ください。

■大野市(広域避難先)における避難施設	
集落名	避難施設
丹生	富田公民館
竹波	大野市富田小学校
菅浜	大野市尚徳中学校
坂尻・山上・太田・佐田・北田・けやき台	大野市エキサイト広場総合体育施設
河原市・和田	大野市上庄小学校
南市	大野市開成中学校
木野・佐柿・麻生	B & G 海洋センター
中寺・宮代・野口・佐野・上野・雲谷	大野市上庄中学校
安江・五十谷・寄戸	上庄公民館
興道寺	大野市小山小学校
小倉	学びの里めいりん
栄	青少年教育センター
新庄	下庄公民館
早瀬・笹田	大野市有終東小学校
日向・気山・大藪・郷市・松原・久々子	福井県立大野高等学校
金山・久保・矢筈	大野市有終南小学校

第181回町原子力環境安全監視委員会を開催

11月12日に、町役場で第181回町原子力環境安全監視委員会を開催しました。

今回の委員会では、関西電力(株)から美浜発電所の安全対策の実施状況等について、また、(独)日本原子力研究開発機構から、同機構の改革計画等について説明を求めました。関西電力(株)から説明を受けた委員からは、

問 新規基準により、40年を超えるプラントに課せられる特別点検の中で、技術的に厳しいものはあるか。併せて、それらのプラント(美浜1・2号機)に定められた申請期限への対応を、どう考えているのか。

等の意見が出され、これらの質問に対し、関西電力(株)は、
答 特別点検には、原子炉容器の部材を細かくチェックすることや、コンクリートが脆くなっていないかの点検等が必要である。従来にない点検もあるため、どのように対応するか申請期限とされている平成27年6月までに、十分に検討し進めたい。と答えました。

その後、(独)日本原子力研究開発機構から説明を受け、委員からは、

問 今回策定した原子力機構の改革計画は、全職員に浸透しているのか。過去には、平成7年に発生した「もんじゅのナトリウム漏れ事故」等を踏まえ実施した動燃改革があるが、同じことを繰り返さないように、しっかりとやってもらいたい。

等の意見が出され、この質問に対し、(独)日本原子力研究開発機構は、
答 今回が、ラストチャンスということを肝に銘じてやっていく。国民の税金を使わせていただいることを忘れず、研究成果をしっかりと出したい。と答えました。

本委員会では、今後も美浜発電所及びもんじゅの安全対策等を適宜確認してまいります。



↑もんじゅの改革計画等について説明する斎藤所長

きれいな空気を 守りましょう

～ 12月は大気汚染防止月間です～

空 気はすべての生物が生きていくために必要不可欠なものです。

美浜町はもとより、福井県は全域的に空気がきれいなため、つい忘れがちですが、空気が汚れてしまうとすべての生物が悪影響を受けることになります。

きれいな空気を守っていくためには、私たち一人ひとりが自分にできることを考え、取り組むことが大切です。

大気汚染防止月間に、私たちができるところを考えてみましょう。



大気汚染防止月間

大気汚染防止月間は、環境省と独立行政法人環境再生保全機構が1988年から実施している知識普及活動です。

気象条件、交通量の増加、暖房のエネルギー使用等で大気の状態が1年で最も悪くなる12月を「大気汚染防止月間」として、都市部を中心に広報活動等を行っています。

環境にやさしい乗り物を・・・

現在、日本の自動車保有台数は、約8千万台です。自動車は現代社会では欠かせない乗り物ですが、その自動車から出される排気ガスには、大気汚染物質が含まれています。

では、自動車から排出される大気汚染物質を減らすにはどうしたらよいのでしょうか。

最近では、低燃費・排出ガス認定車や電気自動車、ハイブリッド自動車等、大気汚染物質の排出を減らした低公害車が開発されています。今後、自動車を買替える時には、このような低公害車を選ぶというのが一つの方法です。

また、徒歩や自転車、公共交通機関を利用する等、自動車をできるだけ使用しないということも大切です。



暖房の使用は控えめに・・・

原子力発電所が稼動していない今、日本の電力は、火力発電が中心となっています。火力発電は、電気を作る時に、化石燃料を燃やすため、大気汚染物質が発生します。電気の無駄使いを無くしていくことも大切です。

これからの季節、暖房の使用によりエネルギー消費が増えますが、暖房の使いすぎには注意しましょう。

また、暖房時の室温を20℃前後に設定し、衣類で調節する等、エネルギーの消費が少なくても暖かく過ごせる工夫をしましょう。

※お問い合わせ先

町住民環境課(担当・田村)

☎ 32・6703

